



講師 **鈴木 達治郎** 先生

長崎大学核兵器廃絶研究センター  
(RECNA) センター長

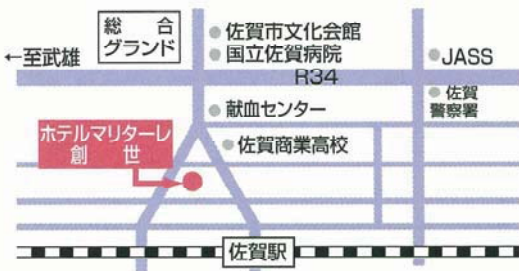
TATSUJIROU SUZUKI

1951 年生まれ。  
1975 年東京大学工学部原子力工学科卒。  
1978 年マサチューセッツ工科大学プログラム  
修士修了。工学博士(東京大学)。  
2010 年1月より 2014 年3月まで内閣府原子力委員会委員長代理を務めた。核兵器と戦争の根絶を目指す科学者集団バグウォッシュ会議評議員として活動をしている。

日時 **8月19日** 土

開場/15:30  
講演/16:00~17:50

会場 **ホテルマリターレ創世**  
佐賀市神野東2-5-15 ☎0952-33-5511



H P

〜二極対立を超えて〜

市民公開講演会

3.11 原発事故後の原子力政策の在り方

2011 年の福島原発事故から6年以上もたちますが、日本の原子力政策は漂流を続けています。福島の廃炉や避難解除の在り方、賠償問題、事故の原因究明など、福島事故対応はまだまだ続いており、福島事故はまだ終わっていません。福島事故の教訓を十分にふまえるべきである、原子力政策も、むしろ事故以前に回帰しつつあります。

特に重要な問題は、脱原発か否かの二極対立が続いているため、本当に重要な課題解決に向けての施策が遅れていることです。使用済み燃料の管理、放射性廃棄物の最終処分、廃炉の行方、地元自治体の地域振興と避難計画、もんじゅ廃炉後の核燃料サイクル、プルトニウム問題と問題は山積みです。何よりも、国民の信頼を回復することが何よりも重要です。

2014 年のエネルギー基本計画の見直しの年に当たる今年、もう一度原子力政策の在り方を考える良い時期です。脱原発か否かの二極対立を超えた課題解決に向けての方策について、講演させていただきます。

**入場無料**  
どなたでもご参加できます

(定員になり次第締め切ります)

主催 ■ **佐賀県保険医協会**  
お問い合わせ先 E-mail: hoken-i@star.saganet.ne.jp

☎ (0952) 29-1933 FAX (0952) 23-5218  
佐賀市駅前中央1-9-45 三井生命ビル4F

FAX 参加 **FAX 23-5218**  
申込書 (0952) 23-5218

2017.8.19(土)

市民公開講演会 **3.11 原発事故後の原子力政策の在り方**  
〜二極対立を超えて〜

\*会場整理のため、なるべく事前のお申込みをお願いします。

参加人数

人

団体名などございましたら

御氏名

御住所

TEL ( ) -